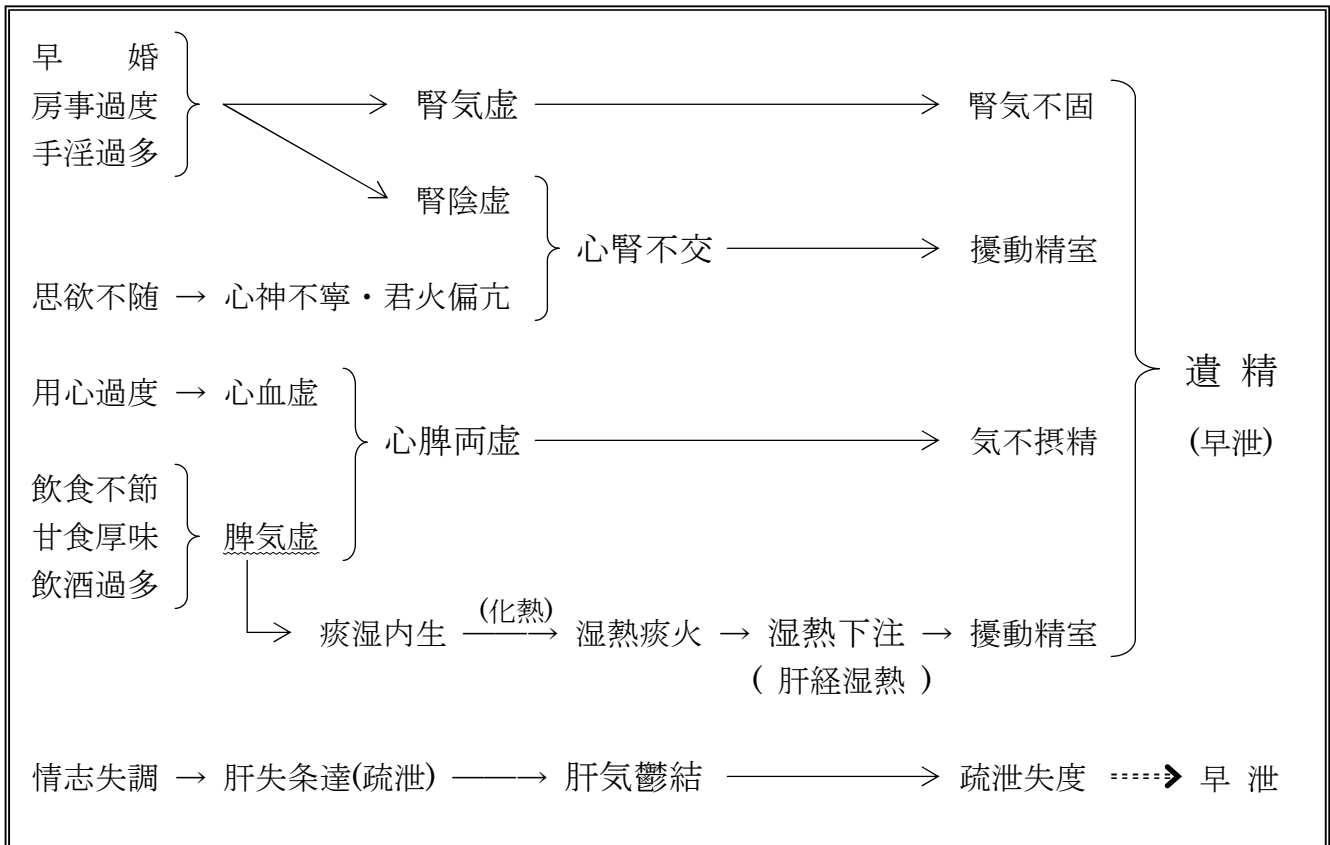


第32講 『遺精』

：遺精とは性交渉によってではなく頻繁に精液を漏泄する病証で、睡眠時に起こる不随意の射精[夢遺(夢精)]と、覚醒時における不随意の射精[滑精]を含む。

【分類】 腎虚不固； 心脾両虚； 心腎不交； 湿熱下注

【病因病機】



* 「早泄」の病因病機は「遺精」の病機とほぼ同じで鍼灸による治療も同じである（異病同治）。 「早泄」とは陰茎が陰道に挿入されて1分未満、甚だしいものでは陰道口に接触しただけで射精に至るもので、正常な性交が行えないものを指す。

【鑑別】

1. 夢遺と滑精：定義で紹介済み。
2. 遺精と早泄：早泄は性交の時間が短すぎるものをいう。陰道に挿入してすぐに、或いは陰道口に触れただけで精液の排出がおこり、それに伴って陰茎が痿軟になり正常な性交が行えないものである。性交に起因するわけではなく精液の排出の起こる遺精・滑精とは異なる。

【 症状と処方例 】

※ 基本穴

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
関元	任脈	補腎固精	前正中線上で臍下3寸
腎俞	膀胱経		第2・3腰椎棘突起間、外1寸5分
次髎	膀胱経		第2後仙骨孔部
三陰交	脾経		内果の上3寸、脛骨内側縁骨際

1. 腎虚不固

[症状] 頻繁に遺精が起こる、滑精が見られることもある。射精後は疲労倦怠感、腰膝酸軟等の症状を伴う。性欲減退、小便頻数、顔色に精彩がない、眩暈、耳鳴り、舌淡、脈弱。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
基本穴	***	補腎固精	* * * * * * *
志室	膀胱経		第2・3腰椎棘突起間、外3寸
太谿	腎経		内果とアキレス腱の間陥凹部

※ 湯液：六味地黄丸、左帰丸、右帰丸

2. 心脾両虚

[症状] 思慮の過度或いは労倦によって遺精が起こる。心悸怔忡、失眠健忘、顔色は萎黄、四肢倦怠、食欲不振、軟便、舌淡、脈細弱。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
基本穴	***	補腎固精	* * * * * * *
心俞	膀胱経	養心健脾	第5・6胸椎棘突起間の外1寸5分
脾俞	膀胱経		第11・12胸椎棘突起間、外1寸5分

※ 湯液：補中益気湯 或いは 妙香散

3. 陰虚火旺（心腎不交）

[症 状] 夢中遺精、夜寐不寧、眩暈、耳鳴、心悸易驚、精神疲労、無力感、腰膝酸軟、五心煩熱、潮熱盜汗、口唇の乾燥、舌紅少苔或いは無苔、脈細数。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
基本穴	***	補腎固精	* * * * * *
太谿	腎経	滋陰降火	内果とアキレス腱の間陥凹部
神門	心経		手関節前面横紋の尺側、豆状骨の上際で尺側手根屈筋腱の橈側

※ 湯液：黄連清心飲

4. 湿熱下注

[症 状] 夢中遺精を頻発する。排尿後精液の外流が見られる、小便短黄・混濁しており渋って出づらくしみる感じがしてすっきりしない。口苦、煩渴、舌紅、苔黄膩、脈滑数。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
基本穴	***	補腎固精	* * * * * *
中極	任脈	清利湿熱	前正中線上で臍下4寸
陰陵泉	脾経		脛骨内側顆の下、脛骨内側の骨際、陥凹部

※ 湯液：萆薢分清飲

《 早泄 》

1. 肝気鬱結

[症 状] 精神抑鬱、焦燥不安、少腹不舒、睾丸が突っ張る、胸悶太息、舌辺紅、脈弦。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
基本穴	***	補腎固精	* * * * * *
太 衝	肝 経	理気解鬱	足背にあり、第1・2中足骨底間の前、陥凹部
行 間	肝 経		第1中足指節関節の前、外側陥凹部

※ 湯液： 逍遙散